

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年 6月 10日

仕事の内容	小・中学校施設維持管理事業					
担当部署・課長名	学校教育	課	施設	係	課長名	中橋 健

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款	10	教育費	項	2-3	小学校費・中学校費	目	1	学校管理費	事業	1	小学校運営費・中学校運営費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。							① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市内全校							小学校10校・中学校5校					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]							② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	安全で清潔な学校施設							安全で清潔な学校施設の割合					
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。							③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	<p>○小・中学校施設の設備保守点検 小荷物専用昇降機保守点検委託・消防設備保守点検・自家用電気工作物保安業務委託・非常通報装置保守点検委託・プール循環装置保守点検委託・熱風炉保守点検委託・建築設備等定期検査委託・ばい煙量調査委託・エレベーター保守点検委託・冷房設備保守点検委託・受水槽高架水槽清掃及び点検委託・オイルタンク清掃及び点検委託・簡易専用水道水質検査委託</p> <p>○小・中学校施設の清掃・施設警備等 施設清掃等業務委託・便所清掃委託・施設管理委託・機械警備委託・プール清掃委託・樹木害虫駆除委託・窓ガラス雨どい清掃委託・校舎内害虫駆除委託</p>							全委託業務					

		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	校	15	15	15		
	成果指標	②の数値	校	15	15	15		
	目 標	②の目標値	%			100	100	100
		目標値設定の考え方	市内全校を安全で清潔な施設とする。					
活動指標	③の数値		22	20	21			

3 経費	事業費		円	109,382,297	121,680,228	121,273,414	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	109,382,297	121,680,228	121,273,414	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	8,298,000	8,298,000	8,233,000		
事業費+人件費		円	117,680,297	129,978,228	129,506,414		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	建築基準法、消防法、電気事業法等に基づき実施している事業や、施設管理上の必要性から実施している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	学校用務員については平成8年度から3年間で段階的に民間委託し、有人警備については昭和55年度から夜間は機械警備に切替えている。一方、年々委託の業務数が増加しており、スケールメリットの発揮や事務量のスリム化のため、委託事業の統合の必要性が出てきている。
	学校用務員については平成8年度から3年間で段階的に民間委託し、有人警備については昭和55年度から夜間は機械警備に切替えている。一方、年々委託の業務数が増加しており、スケールメリットの発揮や事務量のスリム化のため、委託事業の統合の必要性が出てきている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	学校施設清掃等業務委託については、施設の老朽化による小修理が増加するなど業務量が全体的に増えている。便所清掃委託については、施設の老朽により臭気が発生しやすく、学校関係者や保護者などから改善を求める声がある。	

仕 事 の 内 容	小・中学校施設維持管理事業					
担当部署・課長名	学校教育	課	施設	係	課長名	中橋 健

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)	
	取り組みは無い	取組手法
	④事業委託（市内業者等へのアウトソーシング） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。		

7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。
	<p>①委託業務の統合 統合によるスケールメリット発揮、委託業務の更なるクオリティ向上のため、委託事業の統合の必要性が出てきている。具体的に、統合できると考える業務については「8. 今後の方向性」(1)①の通りである。標記については、年々委託の業務数が増加していることが背景にあり、施設係担当者及び各校副校長等の事務量スリム化にも寄与すると考える。</p> <p>②委託変更後の影響の捕捉 平成26年度予算編成時から委託業務の統合及び適正化に取組み、平成27年度に実施した事例と効果等は以下である。これらについて、プラス及びマイナスの両面から影響を捕捉することが今後の課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受水槽高架水槽清掃委託、オイルタンク清掃委託を予算増額無しで点検も委託内容に追加 ⇒施設の老朽化と維持保全に対応。老朽箇所の早期発見。 学校施設清掃等業務委託の季節的業務において実施していた樹木剪定を廃止し学校緑化整備手数料を増額 ⇒各校の樹木管理意識の醸成。 学校施設清掃等業務委託の季節的業務において実施していたWAX清掃の変更 WAX清掃の回数を年2回から1回へ変更。変更減額分により、これまで実施していなかった石材系及びゴム系床の廊下・階段の洗浄清掃と5年に1回の剥離清掃（ビニール系床のみ）を追加。 ⇒校内美化の維持管理。 学校施設清掃等業務委託と便所清掃委託の統合、季節的業務として尿石除去清掃追加 ⇒清掃系業務のワンストップ化とスケールメリット発揮。尿石除去清掃実施による、排水管への影響に留意。 <p>③学校施設清掃等及び便所清掃・尿石除去清掃業務委託のクオリティ向上 平成28年度から標記は統合・変更されたが、更なるクオリティ向上を継続する必要がある。現在の委託内容で、校内の共用部分や校庭の清掃が行き届いているか等、捕捉して改善することが顧客満足の向上や老朽化した学校施設の維持保全にも寄与すると考える。</p> <p>④安定した委託業務の実施 一部の委託業務については、委託内容を鑑みると、単年度契約よりも長期契約の方が、更に安心・安全・清潔を担保し、スケールメリットを発揮できると考えられる。そこで、このまま単年度契約を継続をした方が良いのか、見直しをすべき状況であるのか検討する状況にあると考える。しかし、受託業者によっては長期契約がデメリットとなる可能性があることに注意しなければならない。 具体的に統合できると考える業務については「8. 今後の方向性」(1)①の通りである。</p>

8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性（「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<p>①委託業務の統合 プール清掃委託と窓ガラス及び雨どい清掃委託</p> <p>②委託変更後の影響の捕捉 副校長及び受託者から聴取し捕捉する。</p> <p>③学校施設清掃等及び便所清掃・尿石除去清掃業務委託のクオリティ向上 プロポーザルの実施を検討する。</p> <p>④安定した委託業務の実施 以下の4委託については、学校施設において、安心・安全・清潔を担う基幹委託であると考え、長期契約とする。 ア. 学校施設清掃等及び便所清掃・尿石除去清掃業務委託 イ. 自家用電気工作物保安業務委託 ウ. 消防設備保守点検委託 エ. 機械警備委託</p>			
	<p>(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。</p> <p>【共通課題、準備等】 ・教育委員会、学校、各関係者における意見の一致 ・市担当者の受託者への指導力、業界研究 ・他市区における事例研究 ※区部については、自家用電気工作物、消防設備の委託については、長期契約が多い</p> <p>【個別課題、準備等】 ①委託業務の統合 ・プール清掃委託と窓ガラス及び雨どい清掃委託の統合については、市内業者で対応可能と聴取している。</p> <p>②委託変更後の影響の捕捉 ・市担当者が実際の現場に足を運ぶ時間の確保 ・副校長等との信頼関係の醸成</p> <p>③学校施設清掃等及び便所清掃・尿石除去清掃業務委託のクオリティ向上 ・予算増を伴わないか</p> <p>④安定した委託業務の実施 ・予算増を伴わないか ・「8. 今後の方向性」(1)④アの委託については、プロポーザルと併せて実施</p>			
	<p>(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>成 果</td> <td>成果を向上させる。</td> <td>経 費</td> <td>仕事の経費は維持する。</td> </tr> </table>	成 果	成果を向上させる。	経 費
成 果	成果を向上させる。	経 費	仕事の経費は維持する。	